

キッズルーム便り

お知らせコーナー

～保育士常駐時間～

月曜日・火曜日・木曜日 19時まで（最終予約 18時40分）

保育士・衛生士がブログ
を更新しています♪



キッズルームで「夏休みのイベント」を行います。
今年の夏休みのイベントのテーマは 「祭り」
折り紙・画用紙などを使って夏祭り名物を製作します。
完成した作品は、ガラス面に貼りキッズルームで夏祭りの雰囲気味わえたらな～と思います♪、作品を作ってくれるお友達を是非お待ちしております♪是非この機会に健診を。期間：7月23日（月）～8月3

小さなお子様が増えています。子ども達が気持ちよくキッズルームをご利用できるように入室される前には

①必ず手を拭いてください

②素足の方は、足も拭いてください

衛生的な保育環境を提供する為に、ご理解・ご協力を
お願い致します
院長より

熱中症について

特に体温調節機能が十分に発達していない乳幼児は、大人よりも熱中症にかかりやすいといわれていますので、より一層の熱中症予防・対策をおこなう必要があります。

対策

1.水分を多めにとろう 新陳代謝が活発なため、汗や尿として体から出ていく水分が多く、脱水を起こしやすい体です。水分を多く含む食事や、定期的な水分補給を心がけましょう。	4.暑い環境に置き去りにしないようにしよう 乳幼児は自分の力で移動することができないので、「寝ているから」「ちょっとの時間だから」と放置することは危険です。特に、車内に置き去りにすることは絶対にやめましょう。
2.熱や日ざしから守ろう 自律神経の働きが未熟で、放熱や発汗による体温調節がうまくできません。熱のこもらない素材や薄い色の衣服を選んだり、日光を遮る帽子などを身につけたりさせましょう。	5.室内あそびも油断しないようにしよう 日差しがない屋内では大丈夫だろうと油断しがちです。屋外と同じ対策を意識しましょう。
3.地面の熱に気をつけよう 背が低かったり、ベビーカーの利用などで大人よりも地面に近い環境で過ごすことが多く、地表からの熱を受けやすくなります。子どもの高さの気温や湿度を気かけましょう。	6.周りの大人が気かけよう 暑さや体の不調を、まだ自分の言葉で十分に訴えることができないため、服装や摂取するものによる暑さ調節がうまくできません。汗や体温、顔色や泣き方など、赤ちゃん・子どもの様子を、まわりの大人が気かけましょう。
7.外で夢中になりすぎない 遊びに夢中になると、のどの渇きや気分の悪さなどの熱中症のサインに気づくのが遅くなります。子どもや特に乳幼児が遊びに夢中な場合には、大人が見守り休憩や水分補給をすすめましょう。	

◇衛生士のコーナー

「ご存知ですか？乳歯の生える順番」

赤ちゃんの歯は下の前歯から生えはじめます。生えはじめる時期には個人差がありますが、男の子は8ヶ月、女の子は9ヶ月頃から生え始めるのが目安です。

1歳になる時には上の歯と下の歯で合計8本生えてきます。

人によっては歯が生えるのが遅かったり早かったりすることもあります。前後2ヶ月程度の差であれば心配する必要はありません。

1歳6か月頃になると食べ物を咀嚼するときに使う奥歯4本（第一乳臼歯）が生えてきて合計12本になります。2歳ごろには犬歯（乳犬歯）が生えてきて合計16本になります。

2歳6ヶ月頃には奥歯4本（第二乳臼歯）が生えそろい、計20本となるのでしっかり噛んで食べることが出来るようになります。

赤ちゃんの歯の生える順番にはだいたいの目安があるものの、個人差があるのが普通です。

歯が生えてこないと不安を感じ、心配な時は歯科医院で相談して検査を受けてみましょう。 歯科衛生士 小山